

## 參考資料



# デジタルユーロの「準備フェーズ」への移行について（概要）

- デジタルユーロについて、2023年10月18日、ECB（欧州中央銀行）は、2021年10月から開始した「調査フェーズ」を完了させ、**2023年11月1日から「準備フェーズ」を開始**することを公表。
  - ※ 「調査フェーズ」においては、デジタルユーロの設計に関する選択肢の提示、民間事業者が参加する実験、決済関係の民間事業者や有識者を交えた議論等を実施。
- 「準備フェーズ」においては、**最初の2年間で、ルールブックの策定やプラットフォーム・インフラの開発事業者の選定、更なる実証実験等を実施し、その後、次なる準備段階に進むかについて判断**することとされている。
- なお、「準備フェーズ」の開始は**デジタルユーロの発行判断ではなく**、発行判断はEUの立法プロセスの完了後、ECBの政策理事会によって判断することとされている。

## ECBプレスリリース（2023.10.18）におけるその他の記載内容

### ●デジタルユーロの設計・意義（「調査フェーズ」に基づくもの）

- － 銀行など仲介機関を通じて、個人・ビジネスが利用可能。
- － デジタル形態の現金で、広く利用可能。基本的な利用は無料。オンライン・オフライン共に使用可能。最高水準のプライバシーを確保。即時に決済が完了。利用シーンは、個人間の支払い、店頭・eコマースでの支払い、政府との受払い。
- － データ保護を優先。ユーロシステムは、利用者の個人に関するデータを見たり、個人と取引情報を結びつけることができないようにする。オフライン決済においては、現金同様のプライバシーを実現。
- － 欧州によるガバナンスの下、決済の強靱性・競争・イノベーションを促進。
- － 決済サービス事業者やユーロシステムが提供するアプリのほか、郵便局といった公共機関から提供されるカードによっても利用可能。ATMでデジタルユーロと現金の交換を可能に。個人の基本的な利用は無料、仲介機関は店舗からサービス料金を徴収可能（過剰なものとならないようセーフガード措置あり）。

### ●関係者のコメント

- － ラガルド総裁「我々の考えでは、デジタルユーロはデジタル形態の現金で、すべてのデジタル決済に使用でき、無料で、最高水準のプライバシー基準を満たすものである。デジタルユーロは物理的な現金と共存するもので、現金は常に利用可能で、誰一人取り残されることはない。」
- － パネッタ理事「デジタルユーロは、欧州における決済の効率性を向上させ、欧州の戦略的自律に貢献するだろう。」